

生活環境学部 食物栄養学科

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【教育理念】

食物栄養学科は、食物・栄養分野において日本のリーダーとなる専門家の育成を目指しています。食物という身近な素材から人びとの健康増進、疾病予防を考え、食物の栄養性、機能性、嗜好性、安全性、食環境などについて、ライフサイエンスを基礎とした教育を行っています。その対象は、化学物質（DNA、タンパク質、脂質、ビタミン等）や細胞、微生物などのミクロ分野から、個体、ヒト集団などのマクロ分野まで多岐にわたります。また、管理栄養士、栄養教諭、食品衛生監視員・管理者の養成課程を設置しており、病院や学校、保健所での実習を通して実践的教育も行っています。

【求める学生像】

食物栄養学科は、食や健康について興味を持ち、それを深く学び、将来、社会の中でそれを生かしたいと考えている学生を求めます。専門教育の内容を十分に理解するために、高等学校で化学・生物など自然科学全般に興味を持ち、学習しておくことが望まれます。また、英語は現代科学のグローバル化に伴い、食や健康に関する知識・情報などの収集・発信のために重要なスキルですので、高校生のうちに十分な能力を身につけておくよう努力してください。

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜（前期日程）

前期日程では、大学入学共通テストと個別学力検査によって、高等学校卒業水準の基礎的学力および食物栄養学を学ぶために必要な学力が身についているかどうかを評価し、可否を判定します。大学入学共通テストは国語、地歴・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目もしくは6教科8科目※で、「理科2科目利用型」、「地歴・公民2科目利用型」の選択を可能にしています。個別学力検査は外国語と国語、数学、理科（物理、化学、生物）から1科目の計2科目です。大学入学共通テスト、個別学力検査とも理系、文系の双方に対応し、高等学校における学びの分野にとらわれず、様々なバックグラウンドを持つ受験生を受け入れています。

一般選抜（後期日程）

後期日程では、大学入学共通テスト（一般選抜前期日程と同じ科目）※と、個別学力検査として面接を実施し、高等学校卒業水準の基礎的学力および食物栄養学を学ぶために必要な学力が身についているかどうかを評価し、可否を判定します。面接では、高等学校における学習の達成度に留意しつ

つ、積極性や表現力等を評価します。

学校推薦型選抜

学校推薦型選抜では、大学入学共通テスト(一般選抜前期日程と同じ科目)※と、面接により、高等学校卒業水準の基礎的学力および食物栄養学を学ぶために必要な学力が身についているかどうかを評価し、合否を判定します。面接では、高等学校における学習の達成度に留意しつつ、積極性や表現力、さらに食物栄養学に対する興味関心、出願書類などにより評価します。

総合型選抜 探究力入試「Q」

総合型選抜 探究力入試「Q」では、第1次選考と第2次選考を行います。第1次選考では、提出された調査書、学習研究計画書などをもとに、高等学校における学習の達成度、食物栄養学に対する探究心などを評価します。第2次選考では、科学的な内容の文書(英語を含む場合があります)や実験データなどを読んで作成する小論文、プレゼンテーションおよび質疑応答をもとに、積極性や表現力、食物栄養学に対する探究心などを評価します。

高大接続カリキュラム開発プログラムに基づく特別入試

奈良女子大学附属中等教育学校を含む対象校※※において、高大接続文理統合探究コースを受講し修得見込みの者を対象に、文理を統合した視点や、探究に必要な能力を身につけた人を選抜するために、探究活動の発表、探究活動に関する論文、調査書、志望理由書、高大接続文理統合探究コースの履修状況等によって、基礎的学力、論理的思考力、課題発見・解決能力等を総合的に評価します。

私費外国人留学生入試

私費外国人留学生入試では、日本留学試験の成績(日本語、理科、数学)、TOEFLのスコアと、面接により、高等学校卒業水準の基礎的学力および食物栄養学を学ぶために必要な学力が身についているかどうかを評価し、合否を判定します。面接では、積極性や表現力、さらに食物栄養学に対する興味関心、出願書類などにより評価します。

※令和7年度入学者選抜以降における実施教科・科目(大学入学共通テスト利用教科・科目及び個別学力検査の出題教科・科目等)は、別途公表した教科・科目の内容となります。

※※対象校については本学ホームページ「学部入試(学生募集等)」に別掲